

【最近のこれはお見事!】『朝食、昼食、そして夕食』驚きもなく普通の生活を題名にしている所が面白い。

# シネマズライフ

【最近のこれはまずいぞ!】『オース!パタヤン』今だ現役往年の人気歌手・パタヤンと田端義夫が主人公。しかし、世間で彼の事はこぞ存じない人も多い。

2013年4月5日発行 第36号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

貴樹 諒音

## 映画の風景 日本の風景

※ 宮崎県・天岩戸神社 ※



昔、『日本誕生』という映画があった。こんな映画だ。はるか昔の世界。多くの神達が生まれ、最後に誕生したのが、伊弉那岐・伊弉那美。二人は神達から命ぜられ於熊高島を作り、そこで二人は数々の大地を作った。そして、豊饒天皇の時代。ある日、皇太子だったオオウス(後のオウス)が殺してしまふ。オウスの荒いオウスに憐れた天皇は、彼を西の熊曾兄弟退治に向かわせる。それは、一族の息子を天皇にしたいという大臣の伴連日連の毒計だった。ところが、オウスは兄弟を討ち果たし日本武尊という名前までもらってしまう。その剛毅ぶりに驚いた天皇は帰ったばかりの武尊を伴連日連の毒言で、再び東国征伐に遣いやるが…。

日本武尊の活躍を中心に、日本の成り立ちを描く。

天照大神が天岩戸に隠れる逸話が面白い。弟・須佐乃尊のいたずらに怒った天照大神が「天の岩戸」に隠れてしまい、世の中が真っ暗になってしまった…。この話は、おそらく日食の事。確かに突然に太陽が真っ黒になりと驚いた事だろう。古代を語った物語は人間は自然と折り合いをつけて生きていた事を気づかせてくれる。

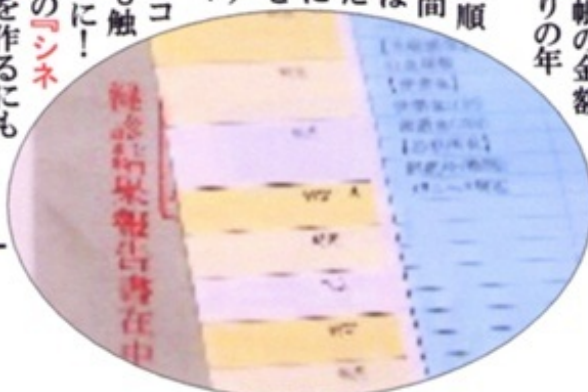
『日本誕生』1959年日本 主演:三船敏郎 鶴田浩二 弓削智子 原節子 田中絹代 東野英治郎 田崎潤 香川京子 上原美佐 水野久美 志村喬

お話は主に『古事記』『日本書紀』などの古代の史書がベース。東宝映画1000本記念作品で当時のトップスター達が出演します。原節子の天照大神は必見! 美しいです。

### コラム やっぱり健康は自分で守るしかない件

前編

去年は一年中、家電製品が壊れまくり、半分ぐらいいの電化製品が新しくなっておりあえず「まあ、電化製品に関してはいいい年だったかな…」と思ったが、貯金通帳の金額が減るばかりの年だった。



で、今年。順調な1年間を送れるはずだったのだが、2月になりとつぜんドライアイになり、一時はパソコンもスマホも触れない状態に! おかげでこの『シネマズライフ』を作るにも一苦労…。その上、調子が悪いとあつちこつちも心配になってくる。まずは眼科に駆け込み《眼底検査》をしてもらい、頭の中をMRIで見てもらう。次に持病が悪化していないが心配になり、思い切って「人間ドック」を申し込む。

待ってる間に腸の具合が気になり始め思い悩んだりする。そうこうしているうちに「人間ドック」の検査の日が!

大きな病院だったので、はっきりした結果は約3週間後。しかし、腰の痛みが気になりレントゲン、ついでにカメラで胃と腸を覗いてもらいすべてが異常なし。

それにしても健康も数字で換算されると思うと複雑だ…(;-;-)

結局、持病以外は悪い所もなくちよつと安心。結果は結局年相応な健康だそう。しかし、油断のならない昨今の健康状態。これを機会にでかけない日は1時間かけて歩く事にした。道すがらに桜を眺めたり、家の前に花壇を作っている人も多く、スマホでユーチューブを聞きながら歩くのであきる事もなく楽しく歩いていて、漸く落ち着いてきた今日この頃なのです。



